

第6次会津若松市男女共同参画推進プラン（案）の概要について

会津若松市 企画調整課 協働・男女参画室

1 プラン策定の趣旨

本市が目指す男女共同参画社会は、すべての人が性別にかかわらず、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができる社会であり、多様な生き方を互いに認め合い、生きがいを持って自分らしく、安心して暮らせる社会です。

国内外において、あらゆる取組にジェンダー平等の実現を目的としてジェンダーの視点を反映していく「ジェンダー主流化」は不可欠、男女の間に不平等が生じている現状の解決は、持続可能な社会の実現に向け急務であるといわれています。

しかしながら、生活の様々な場面において男女共同参画意識は高まってきているにもかかわらず、現実の生活では「女性は家庭、男性は仕事」といった従来の固定的性別役割分担をせざるをえない実態が残っています。

そのため、本プランでは、前プランの基本理念を継承しつつ、男女の不平等感を解消し、女性が生き生きと活躍できる会津若松市をつくっていくため、次期プランを策定するものです。

2 計画の性格

男女共同参画を形成していくための基本目標と施策の方向性について記載したものであり、市や市民一人ひとりが家庭・学校・職場・地域などにおいて取り組んでいく指針とするものです。

3 計画の期間

令和6年度～令和10年度の5年間とします。

4 今後のプラン策定スケジュール

- 令和5年11月 パブリックコメントの実施
- 令和5年11月 男女共同参画審議会へ諮問
- 令和6年1月 市長への答申
- 令和6年1月 成案の決定
- 令和6年3月 公表

5 基本理念

「性別にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができるまちを目指して」

6 計画の基本目標

- 基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備
- 基本目標Ⅱ 女性があらゆる分野に参画できる社会づくり
- 基本目標Ⅲ 誰もが安全・安心に暮らすことができる社会づくり

7 重点的な取組と新たな視点

【重点的な取組】

- ① 仕事と生活の調和を図るための環境の整備
一人ひとりが性別にかかわらずその個性や能力を発揮するために、仕事と家庭生活の両立の支援を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスに関する優良事例の紹介や意識啓発、男性の家事・育児への参画に関する意識改革やスキル習得につながる取組、男女共同参画の推進、そして市内事業者のモデルとなるよう市役所の環境整備の推進を図ります。
- ② 女性の能力発揮・人材育成
女性があらゆる分野で活躍できるよう、環境づくりや機会の確保、情報提供に努めるほか、能力や長所を高め、社会参画や様々な課題解決に向かい考え行動できる力を身につけるための、様々な学習機会を提供していきます。
- ③ 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
次世代を担う子どもたちに対し、多様性を尊重し、自分らしく生きることにつながるよう学校教育での取組を進めていきます。また、子どもから高齢者に至るまで、幅広い層を対象に男女共同参画を分かりやすく広められるよう学習機会の充実を図ります。

【新たな視点】

- ① 多様なSOGI※への理解増進
男女共同参画への意識づくりの視点に、性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならないものであるとの認識のもと、性的少数者への理解と配慮の視点を盛り込み、取り組んでいきます。

※ SOGI

性的指向とジェンダーアイデンティティを表す英語 (Sexual Orientation & Gender Identity) の頭文字をとった言葉。

これは、「LGBT」よりも広く性の多様性を考える概念であり、「LGBT」の人たちを特別視するのではなく、個人のあらゆる性的指向やジェンダーアイデンティティを尊重するという考え方。